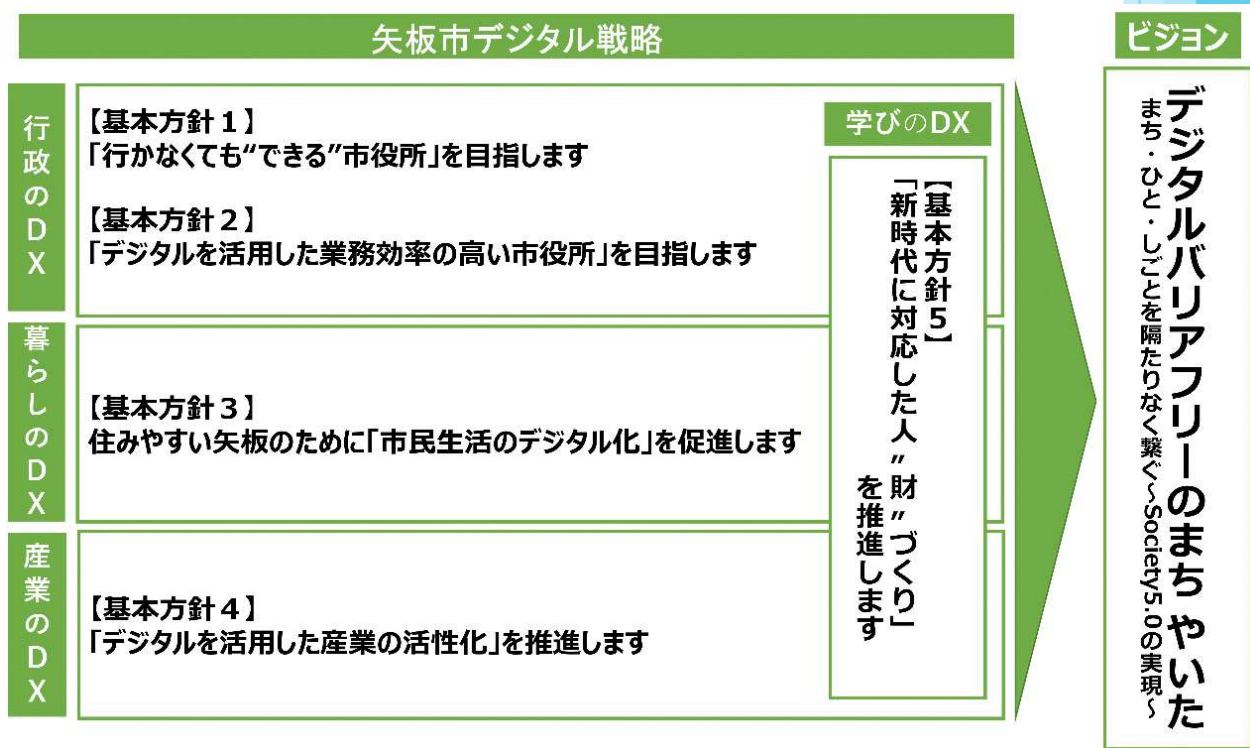


矢板市デジタルバリアフリー宣言

矢板市は、人口減少、少子高齢化などの社会課題の解決や、社会のデジタル変革に対応するため、「行政」「暮らし」「産業」「学び」の分野において、市民の誰もがデジタル化の恩恵を享受できるよう、「矢板市デジタル戦略」に基づき、ここに「矢板市デジタルバリアフリー」を宣言します。

2023年1月20日
矢板市長 齋藤 淳一郎

矢板市デジタル戦略が目指す姿



これまでの主な取組

行政のDX

- ・デジタルに係る民間の知見を取り入れるため、地域活性化起業人を登用しました。
- ・市のDX推進計画である「矢板市デジタル戦略」を施行しました。
- ・マイナンバーカードの交付率について、県内一位（R4.12末時点）を達成しました。

暮らしのDX

- ・団体向けに、デジタルに関する出前講座を実施しました。
- ・住民アンケートなどにオンライン化を取り入れました。

産業のDX

- ・県デジタルハブと連携し、林業プロジェクトによる実証実験を始めました。
- ・建設中の未来体育館に、未来技術を実装する検討を行いました。

学びのDX

- ・校舎内のどこでも作業できる校務システムを県内で最初に構築しました。
- ・GIGAスクールタブレットを県内で最初に配備を行いました。
- ・学校電子図書館「ともなりライブラリー」を全国で初めて開設しました。

これからの主な取組

行政のDX

- ・令和4年度内に行政手続のオンライン化を実施します。
- ・マイナンバーカードのより一層の普及促進に努めます。
- ・情報セキュリティポリシーを全面改定します。

暮らしのDX

- ・令和5年度に向け、広報やいたに「デジタル保健室」の設置を検討します。
- ・デジタルを使ったきめ細やかな情報発信について、調査検討を行います。

産業のDX

- ・林業プロジェクトの成果達成に向けて、一層推進します。
- ・建設中の未来体育館に、最先端のデジタル技術を導入します。

学びのDX

- ・デジタル機器に不慣れな方々向けに、デジタル市民講座を開設します。
- ・地域において気軽に相談できる「地域デジタルリーダー」の育成支援を行います。
- ・GIGAスクールの内容を引き続き充実します。